

～ Smile いっぱい！かがやく湯江っ子のために ～

SCRUM



島原市立湯江小学校

学校だより No.12

令和6年7月16日(火)

文責：校長 大槻浩二

青少年健全育成懇談会が行われました。

7月11日(木)、12日(金)に有明地区青少年育成会議の主催による「青少年健全育成懇談会」が有明公民館にて行われました。準備して下さったPTA役員の皆様、参加して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

本会は、「有明地区の子どもたちの非行・事故の未然防止や凶悪事件に巻き込まれないように見守っていくことに対する有明地区住民の意識の高揚を目指す。」が目的です。この懇談会は、小・中学校の保護者だけでなく、地域の皆様も参加していただきました。



懇談会では、学校の現状や夏休みの生活指導について、警察署から少年事件の概要についての説明がありました。その後の協議では危険箇所の確認等を行いました。貴重な情報を夏休み前の指導に生かしたいと思います。

むし歯は、自然治癒しません！

！学期の歯科検診後には、保護者の皆様に治療勧告を送付し、早期の治療をお願いしていますが、現時点で治療を終えた報告は、全体の30%にも達していません。

現在、治療中の方もいらっしゃると思いますが、夏休み期間中は、治療の絶好の機会です。本校は、むし歯治療率100%を目標としています。夏休みを利用して受診をお願いします。

むし歯は、自然治癒しません。治療しないと治らないのです。これは、子どもの責任ではありません。子どもの健康を守るための親の責任です。

小学生は乳歯が生え変わる時期です。生え変わるからそのままでも大丈夫という訳ではありません。放置してはいけません。乳歯の虫歯を放置すると次のような悪影響があります。

- ①偏食になりやすい
- ②顎が十分に発達しない
- ③虫歯のリスクが高まる
- ④永久歯の歯並びが乱れる
- ⑤永久歯の発育を妨げる

乳歯のうちからお口の健康づくりを徹底するためにも、早期の治療をお願いします。



【夏休み前特集】オンラインゲームで子どもに起きているトラブル

夏休みは、子どものゲーム利用時間が増加することが懸念されます。現在、全国的にオンラインゲームでの様々なトラブルが問題となっている。中でもよく話題となるのが、武器をもって人を殺めるバトルロイヤル系ゲームだ。本校でもよく耳にする。

問題となっていゲームの多くは、オンラインで多数参加し、最後の生き残りをかけて戦うゲームだ。バトルロイヤル系ゲームは、多数存在するが、小中高生などの子どもの間で人気となっている反面、トラブルも多発している。



トラブルは、主に5つある。

- ①「子ども自身の暴言」
- ②「仲間はずれなどのいじめやトラブル」
- ③「高額課金」
- ④「長時間プレイのゲーム依存問題」
- ⑤「個人情報漏洩や出会い系被害」

「子ども自身の暴言」と「仲間はずれなどのいじめや人間関係トラブル」はつながっている。子どもがゲームで『死ね、消えろ』と口汚く罵り合い、悪口や暴言を吐くようになり、その結果いじめや人間関係トラブルにつながる例はとても多い。また、グループから外されて、仲間はずれになったという話も多い。チームプレイで生き残りをかけて争うため、下手だという理由でグループから外されてしまうのだ。これが、学校での仲間はずれやいじめにつながり、保護者のトラブルにも発展する。



「高額課金」問題もよく起きている。「子どもが親に隠れて数万円課金していた」「課金していないからと友だちにバカにされた」などと聞く。キャラクターの見た目を好きなものに固定するために課金する。ギフト機能で

友だちに購入したコンテンツをプレゼントし、友だちに好かれようとして周囲に配りまくっている子もいる。後で請求が数十万来て、初めて親が知ったという例も実に多い。

「長時間プレイなどの依存問題」にもつながりやすい。「1位を取りたい。やられて悔しいからもう一度戦いたくなる」「友だちがいるから、途中でやめたり抜けたりしづらい」という理由だ。

「知らない人とプレイすることでの個人情報漏洩や出会い系被害」は、重大な被害が起きている。知らない人とプレイして親しくなり、呼び出されて誘拐されたり、性被害に遭ったりする事件も実際に起きている。

子どもに人気があるゲームの理由はいくつかある。Switchやスマートフォンなど、プレイできるものが多い。その上、最初のダウンロードは無料。YouTubeで実況動画があるものあり、低年齢の子どもが知り、プレイしたいと思う土壌は整っている。

根本的な話になるが、バトルロイヤル系ゲームはCEROで15歳以上対象にレーティングされたものが多い。つまり、15歳以下の子どもには、性表現系、暴力表現、反社会的行為表現系、言語・思想関連表現系で問題とされるという意味だ。つまり、15歳以下には適さないということだ。このことをきちんと親も子どもも理解したい。

子どもの間でトラブルが多発し、問題が学校に持ち込まれる例が増えている。しかし、考えてほしい。ゲームを与えたのは大人である。ならば、ルールを決め、使用状況を確認し、制限をかけ管理するのも大人の責任ではないか。夏休み、メディアに触れる時間も含め、しっかりと管理をお願いしたい。